

# 大西さとし

## 市政レポート 令和6年度 第5回 12月定例会

「人」が輝き、  
「まち」が輝く  
「輝く創造都市、高松」

HPやFacebookでも情報発信中!!

連絡先

〒760-0080 高松市木太町1849-1-602  
TEL 090-8696-1730



←HP  
Facebook→



### Report 報告 1

12月2日から18日までの17日間の日程で、令和6年第5回定例会(12月議会)を開催し、令和6年度一般会計補正予算など27議案を可決し、議員提出議案1件を可決、3件を否決したほか、陳情1件を委員会提出議案として可決しました。

### 令和6年度 12月補正予算の特色

一般会計補正額は、当初予算編成後における情勢変化等へ適切に対応を行うための事業費の補正などにより、約21.4億円の増額補正

(1) 政策課題に対応するための事業の実施 (約0.3億円)

- ・シテイプロモーション推進費
  - ・保育所施設整備費、園舎等整備費
  - ・脱炭素化推進事業費
  - ・塩江温泉郷観光振興事業費
  - ・住宅建築物耐震改修等事業費補助金
- (2) 当初予算編成後における情勢変化等への適切な対応(約21.1億円)
- ・過年度収入精算返還金
  - ・障害福祉サービス給付費
  - ・障害児通所支援事業費
  - ・子ども医療費助成費
  - ・特別保育事業費
  - ・予防接種事故対策費
  - ・身体障害児童育成医療等給付費
  - ・未熟児養育医療給付費
  - ・県営土地改良事業地元負担金等
  - ・団体営土地改良事業補助金
  - ・単独県費補助土地改良事業補助金
  - ・校舎等整備費
  - ・要保護及び準要保護児童生徒就学奨励費など

(3) 債務負担行為の設定

- ・ゼロ市債、指定管理業務委託料などの債務負担行為の設定

### サンポート高松地区におけるプロムナード化

香川県と高松市は、県立アリーナなどの新たな施設整備が進むサンポート高松地区のより一層のにぎわいを創出するため、人が安全で快適に歩ける都市空間づくり(プロムナード化)の検討が進められています。

#### プロムナード化の考え方

- ・より一層のにぎわいを創出するため、人が安全で快適に歩ける都市空間づくり(プロムナード化)
- ・過度に自動車に依存せず、歩く人を増やしてにぎわいを創出
- ・エリアの価値をさらに高め、にぎわい創出・相乗効果を生み出して、より一層の都市の魅力向上
- ・サンポート高松地区から開始し、中央通りや商店街等への回遊性向上

#### 高松駅北側道路のプロムナード化のイメージ



#### 令和6年5月時点の方針(案)



地図出典：国土地理院ウェブサイト(地理院地図に追記)



議会で継動画をご覧になれます。

## 香川県知事・高松市長トップ会議

香川県知事と高松市長のトップ会議は、大西市長が就任した年から開催されており、トップが直接会談することで、香川県と高松市が連携強化を図り、県市間の課題について共通認識を持つことで、これまで、瀬戸内国際芸術祭の開催や、G7関係閣僚会合を始めたMICEの誘致、子育て支援策の強化などで、その方向性を共有することで多くの事業の実現につながっております。

去る10月22日に通算22回目となるトップ会議が開催され、次の件について意見交換を行い、共同歩調で取組んでいくことが確認されました。

### シーフロント全体の一体的なまちづくりについて

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025の開催、「香川県立アリーナ」や徳島文理大学高松駅キャンパスの開設を契機として、サンポートエリアを、にぎわい創出の拠点として更に活用するとともに、今後、新たに生まれる来訪者や学生等の人流を、中心市街地全体に回遊、滞在させる取組などについて、県と連携して推進していく。

### 2025年大阪・関西万博への出展について

大阪・関西万博において、知事・市長が、香川県及び県内市町のブース出展初日（4月30日）に会場を訪問するなど、県と連携して積極的な魅力発信に取組むとともに、黒松盆栽について、効果的なPRを行うことにより、「高松盆栽」のブランドの確立や販路拡大にもつなげていく。

裁」のブランドの確立や販路拡大にもつなげていく。

### 四国の新幹線実現に向けた取組について

本年2月に設立した「香川県市町長四国新幹線整備促進期成会」の枠組みなどを利用し、四国新幹線の早期実現に向けた粘り強い要望活動などに取組むとともに、国や県、関係機関と一体となつて、更なる機運醸成に向けた取組を推進していく。

### 高松環状道路（福岡町～檀紙町間）について

高松環状道路の整備により、中心市街地における渋滞の緩和、本市臨海部の物流拠点へのアクセス向上など、様々な効果が期待できることから、市民を始め、様々な関係者に、事業内容等を丁寧の説明し、理解を得ながら、早期の事業化ができるよう、国や県と連携して取組んでいく。

### 関西圏における若年層のUターン促進や官民連携の強化について

香川県内の高等学校を卒業した大学進学者の4割弱が関西圏の大学に進学し、若年層の進学や就職に伴う県外流出が課題となる中、関西圏における若年層のUターン促進に向けて、大学訪問など、県と連携して取組んでいく。

これからも県・市・町が積極的に連携協力し、地域課題の克服や地域活性化を図り、皆様からの負託にお応えできるよう全力で取組んでまいります。

## 犬猫たちの命をつなぐ施設をつくっています

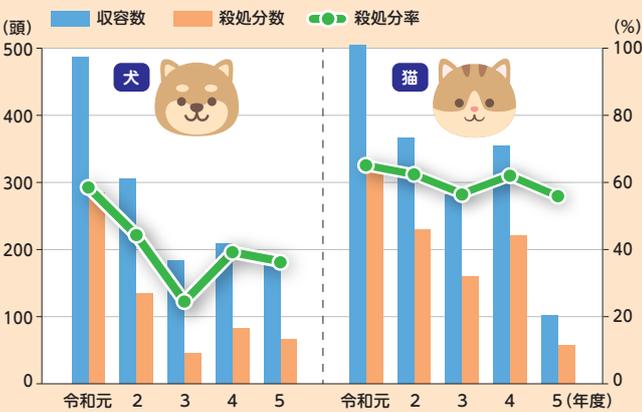
本市では、これまでは保管場所を確保できなかったために殺処分せざるを得なかった犬や猫たちを、1頭でも多く救うため、収容した犬猫を一時的に保管する施設を整備中です。

この施設を整備することで、保健所が収容した犬猫を元の飼い主にお返ししたり、新しい飼い主へお譲りするため保管期間を延長することができるようになります。

高松市保健所には毎年たくさんの方の犬猫が収容され、返還や譲渡に至らなかった犬猫は殺処分している現状があります。収容される多くの犬猫は、飼い主のいない犬猫、つまり「野良犬」「野良猫」がほとんどです。



■高松市犬猫の収容・殺処分の推移



## Colum コラム

### 救急隊ひっ迫アラート発表

高松市消防局管内における救急搬送の件数は年々増加しており、2024年は2万7,344件に上り、この10年で5,986件、約28%の大幅な増加となっております。

また、救急患者の受け入れ先がすぐさま決まらない「救急搬送困難事案」は2024年に1,711件で前年の1.25倍となっております。この傾向は、全国的に同様であり、日本搬送学会は現場到着所要時間が初めて10分の壁を超える「103分」となつたとして、令和6年2月に「緊急アピール」を発表しました。

本市では、令和6年5月より日勤救急隊を導入し、比較的緊急度が低いと判断された転院搬送に対応することで、救急隊の14隊がより緊急度の高い救急事案に迅速に対応できる体制としております。

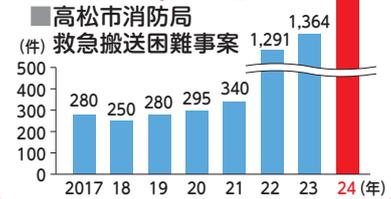
また、令和6年11月より、救急隊の稼働率が80%を超過した際に、逼迫状況を知らせる「救急隊ひっ迫アラート」を市の公式LINEで発信して、救急車の適正利用へのご協力をお願いしております。

今後とも、皆様の「生命」と「財産」を守るため、全力で取組んでまいりますので、救急車の適正利用へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

大西 智



詳しくはこちら



皆様の「生命」と「財産」を守るため、全力で取組んでまいります。